

AEDが心電図を解析し、 電気ショックの必要性を判断します!!

AEDは、心停止でない人に電気ショックをすることはありません

倒れて意識がない人を発見したら!?

① 周囲の安全を確認してから声をかけ
反応の有無を確認する

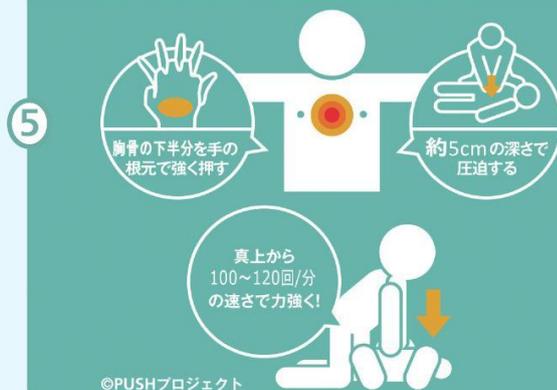
反応がない ▼ 場合は

② 大声で協力者を呼ぶ

③ 協力者に119番通報を頼む

④ 協力者にAEDを
持ってきてもらうように頼む
(AEDの場所は「AED N@VI」などで検索)

呼吸を確認し、
呼吸をしていない、または普段通りの呼吸でなければ
胸骨圧迫(心臓マッサージ)を始める



⑥ AEDが届いたら
電源を入れる



⑦ 2枚のパッドを
素肌に貼りつける



⑧ 音声メッセージに従い
電気ショックの必要の
有無の解析を待つ



⑨ AEDが必要と判断した場合は、周囲の人の安全を確認して
電気ショックボタンを
押す



⑩ 電気ショックのあとは
すぐに胸骨圧迫を再開する
救急隊が到着するまで電源は切らずパッドは
付けたままにして、AEDの指示にしたがう

イラスト出典:「公益財団法人 日本AED財団」ホームページ

いざという時、きちんと使えるように、日頃のAEDの点検も大切です。

インジケータの確認

AEDには、正常に動くかどうかを示すためのインジケータ*が付いています。日常点検する際には、インジケータの表示を確認し、記録しておくことが推奨されています。

*AEDの状態を確認するためのランプや画面



消耗品の交換

*電極パッドやバッテリーには使用期限や寿命があります。

*これらの消耗品の交換時期が分かるように、表示ラベル*を付けましょう。

*表示ラベルにしたがって、使用期限が来たら、交換するようにしましょう。

*製造・販売会社から提供されます。